

中長期計画

平成31年3月
公益社団法人
仲善広域シルバー人材センター

もくじ

I 計画策定の背景と目的	1
計画策定の背景	
計画策定の目的	
計画の期間	
II 平成31年度～平成40年度 基本目標	2
1. センターの安定的運営のための計画	
2. 会員と就業機会の拡大・発展のための計画	
3. 活力ある組織づくりのための計画	
III 平成31年度～仲善広域シルバー人材センター中長期計画目標	3
IV シルバー人材センター事業の現状と課題	4
1. シルバー人材センター事業の現状	
(1) 会員の状況	4
(2) 事業実績	5
(3) 補助事業	6
(4) 独自事業	6
(5) ボランティア活動	7
(6) 会員交流のための同好会活動	7
(7) 事故発生状況	7
2. シルバー人材センター事業の課題と実施計画	8
(1) 会員の確保・拡大	8
(2) 就業機会の確保	9
(3) 安全・適正就業の確保	10
(4) 普及啓発の推進	11
(5) 子育て、高齢者支援事業の推進	12
(6) 事務局体制の充実・強化	13
V 参考資料	14
仲善広域各市町総人口推移	14
60歳以上人口推移	14
60歳・65歳以上人口比グラフ	14
自治体人口推移から見た会員動向グラフ	15
全シ協「第2次会員100万人達成計画」による達成目標会員数	15
過去5年間事業実績推移	
請負委任	15
派遣	16
事故発生状況	16

はじめに

公益社団法人仲善広域シルバー人材センターは、平成 14 年度香川県シルバー人材センター連合会において策定された「中長期基本計画～シルバー人材センター事業の発展を目指して～」の基本指針に基づき、現在まで事業展開をおこなってまいりました。

直近では、平成 23 年度からの 10 年間の「第2次中長期基本計画」によるさらなる発展と充実すべき時代背景に沿った課題を克服していかなければなりません。

平成 32 年度の圏域の 65 歳以上の高齢者人口が 2 万人を超えるとともに、平成 22 年度 6 万 3 千人の人口が、平成 32 年度には 5 万 7 千人と長期の人口減少の過程に入っています。また、少子化が進み、労働人口が減少していく中で、高齢者が意欲と能力のある限り年齢にかかわりなく働き続けることができる「生涯現役社会」の実現が課題となっています。

こうした状況のもと、仲善広域シルバー人材センターでは、地域における就業機会の確保・提供と機能の充実を図り、高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務に係る就業を通じて、生きがいの充実及び社会参加の推進によって、地域とのつながりができる社会を目指して事業を推進しています。

平成 32 年度に最終年度を迎える「第2次中長期基本計画」、平成 26 年度に策定された全国シルバー人材センター事業協会「会員 100 万人達成計画」、平成 30 年度からの「第2次会員 100 万人達成計画」それぞれの目標未達成の分析と評価を行い、仲善広域シルバー人材センターとしての事業拡大と会員拡大、それに伴う安全就業指針など就業環境の見直しを目途に独自に計画を策定いたしました。

今回策定します基本計画は、それらの基本的な指針をもとに積極的な事業展開を図り、高齢者の生きがいづくりと地域社会の振興を目指して事業運営をおこなってまいる所存です。

この、基本計画策定にあたり、各委員会委員の皆様のご協力に対しまして厚くお礼を申し上げますとともに、関係各位の特段のご理解とご支援をお願い申し上げる次第です。

平成 31 年 3 月

公益社団法人 仲善広域シルバー人材センター

理事長 平 岡 政 典

III I 計画策定の背景と目的 III

計画策定の背景

全国的に少子高齢化が進んでおり、国立社会保障・人口問題研究所の「都道府県別将来推計人口」の65歳以上高齢化率の推移をみると、平成27年には26.7%であったものが、10年後の平成37年には30.1%に達するものと見込まれている。

仲善広域シルバー人材センター圏域においては、人口は減少し、高齢化率は1市2町ともに全国平均を大きく上回り、急速に高齢化が進んでいる。

そういった中、香川県シルバー人材センター連合会において策定された「中長期基本計画～シルバー人材センター事業の発展を目指して～」、直近では、平成23年度からの10年間の「第2次中長期基本計画」によるさらなる発展と充実すべき時代背景に沿った課題を克服して、地域における就業機会の確保・提供と機能の充実を図り、高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務に係る就業を通じて、生きがいの充実及び社会参加の推進によって、地域とのつながりができる社会を目指して事業を推進している。

さらに、全国的な取り組みである平成30年度からの「第2次会員100万人達成計画」を実践し、それぞれの目標未達成の分析と評価を行い、仲善広域シルバー人材センターとしての事業拡大と会員拡大、それに伴う安全就業指針など就業環境の見直しを目途に進めていく上で、独自に地域性を生かした「中長期基本計画」を策定し、目標未達成の分析と評価を行い、仲善広域シルバー人材センターとしての事業拡大と会員拡大、それに伴う安全就業指針など就業環境の見直しを目途に進めていくこととなった。

計画策定の目的

香川県シルバー人材センター連合会において策定された平成23年度からの10年間の「第2次中長期基本計画」による取り組みにより、仲善広域シルバー人材センターでは、全国的レベルの運営と、事業運営において各構成自治体との連携を維持してきたところである。しかし、確実に圏域人口の減少と、高齢化率の増加が進んでいる。

定年年齢の延長、60歳年齢の再雇用制度の普及により、会員確保や就業機会の開拓が、より厳しい状況であることを認識して事業運営を行なうこと、高齢者と言われる年齢層のうち、75歳以上人口が平成42年度をピークに増加傾向にあることから、生きがい・就業機会の増大及び活力ある地域社会づくりへの貢献の実現を図るために、独自計画を策定することにより、仲善広域シルバー人材センター構成の自治体と連携し、事業拡充と機能強化を目的とする。

計画の期間

本中期基本計画は、平成31年度を初年度とする平成35年度までの5か年とする。

ただし、長期計画として、全シ協・県シ連の策定する計画を遂行し、変更が生じた場合に隨時見直し、10年をめどに進めていく。

II 平成 31 年度～平成 40 年度 基本目標 (2019) (2028)

基本構想で設定した将来目標を、総合的に推進するために、次の事項を重点目標として基本計画を策定します。

1. センターの安定的運営のための計画

地域社会に貢献するシルバー事業として、未来につなぐ健全なセンター運営を目指します。

2. 会員と就業機会の拡大・発展のための計画

シルバー事業の根幹である会員増と就業拡大により、さらなるセンターの発展を目指します。

3. 活力ある組織づくりのための計画

顧客・会員の多様な要望に対応しうる組織の充実を目指します。



「善通寺市五岳の里」市民集いの丘公園 植栽ボランティア活動風景

III 平成31年度～仲善広域シルバー人材センター中長期計画目標

期 間

- 中期計画 平成31年(2019)～35年(2023) 5か年
- 長期計画 ～平成40年(2028) 10か年
- 上部計画に従い、期間中変更の必要があれば見直す



会員数

- 全シ協「第2次会員100万人達成計画」における会員獲得目標は、平成35年度1,432人
- 仲善広域シルバー人材センター構成自治体のそれぞれの人口推移、高齢化推移を分析し、計画期間10か年で、平成40年度1,200人確保が目標

粗入会率

- 平成32年度80万人獲得目標の全国粗入会率は、1.9%、平成36年度100万人達成全国目標は、2.3%であり、仲善広域シルバー人材センター実績粗入会率とは大きく乖離している
- 平成42年度の75歳以上高齢者人口のピーク以降、減少に転じることから、従来の実績にかわらず、今後、会員獲得の取組の転換は必要とする

事 業

- 広報媒体、報道機関への積極的な広報活動
- 従来型のシルバー事業の住民側からのイメージの転換
- 請負・委任から派遣、職業紹介事業への拡大
- 女性会員の増加に向けた、センター事業の新規開拓と同好会、ボランティア活動の推進
- 公共機関からの高齢者施策に関連した事業の共働と受注拡大

安 全 就 業

- 安全・適正就業委員会の組織的な取り組み強化
- 会員の事故発生状況と検証事案を適時検証し、再発防止策の検討と啓発・指導の推進
- 安全パトロール等の取り組み強化と安全保護具の着用の徹底
- 請負・委任契約になじまない就業や不適切な就業について、発注者への派遣事業・職業紹介事業への切り替えを推進する
- 長期継続就業会員の交替など適正就業基準を遵守し、未就業会員については状況に適した就業先を紹介して就業機会の均等化を図る

IV シルバー人材センター事業の現状と課題

1. シルバー人材センター事業の現状

(1) 会員の状況

① 会員数

平成29年度末現在の会員数は、1,080人（男性663人、女性417人）である。前年同期と比べ、18人の増となっている。

地区別会員数

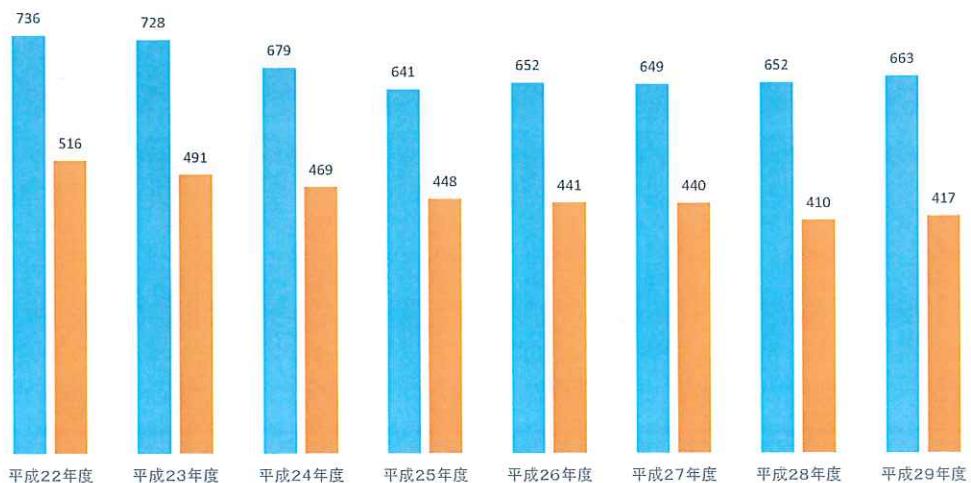
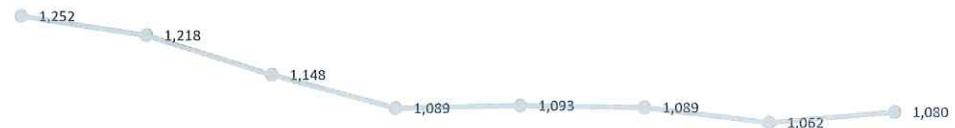
	善通寺	まんのう	琴平	平成30年3月末現在
男	316	244	103	663
女	219	124	74	417
計	535	368	177	1,080

男女別年齢構成

	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	計	比率(%)
男	40	204	230	126	63	663	61.4
女	22	131	130	96	38	417	38.6
計	62	335	360	222	101	1,080	100.0
比率(%)	5.7	31.0	33.3	20.6	9.4	100.0	—

会員数推移 (人)

■ 男性会員 ■ 女性会員 ■ 会員数

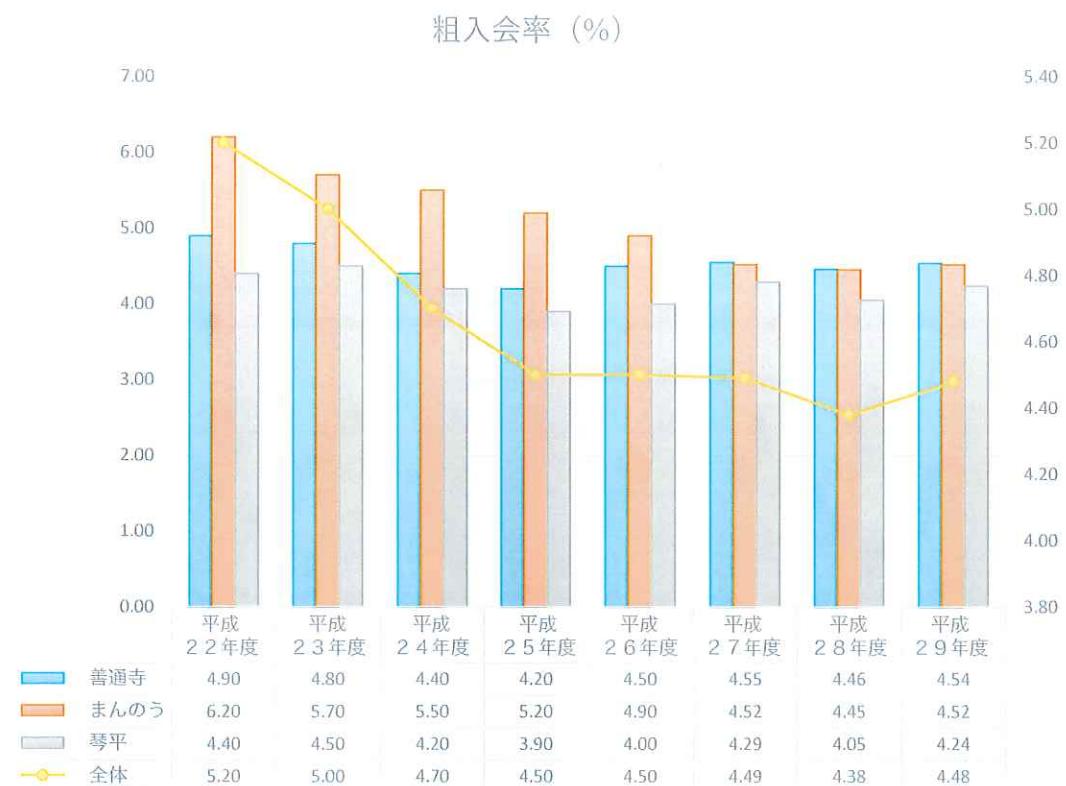


② 粗入会率

平成 29 年度末現在の粗入会率は、4.5%（男性 6.3%、女性 3.1%）である。全国平均 1.7%、香川県平均 2.0% と比べ、それぞれ 2.8%、2.5% 上回っている。

平成 30 年 3 月 31 日現在（住民基本台帳）

	総人口（人）			60 歳以上人口（人）			高齢化率 (%)	会員数	粗入会率 (%)
	男	女	計	男	女	計			
善通寺市	16,102	16,308	32,410	5,155	6,632	11,787	36.37	535	4.54
まんのう町	9,058	9,776	18,834	3,589	4,547	8,136	43.20	368	4.52
琴平町	4,302	4,907	9,209	1,741	2,430	4,171	45.29	177	4.24
合計	29,462	30,991	60,453	10,485	13,609	24,094	39.86	1,080	4.48



（2）事業実績

① 就業実人員

平成 29 年度の就業実人員は、987 人である。前年度に比べ 8 人の増加になっている。

② 就業率

平成 29 年度の就業率は、91.4% であり、前年度に比べ 0.9% 減少しているが、香川県の就業率 85.2% に比べ 6.2% 上回っている。

③ 契約金額

平成 29 年度の契約金額は、651,716 千円であり、前年度比 1,886 千円減少している。

全体事業実施状況

単位：人

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
会員数（人）	1,085	1,093	1,089	1,062	1,080
就業実人員（人）	1,003	967	934	979	987
就業率（%）	92.1	88.5	85.8	92.3	91.4
就業延人数（人日）	101,755	103,131	106,753	121,465	117,356
契約件数（件）	8,106	8,359	8,528	8,714	8,534
契約金額（円）	521,787,484	543,640,798	563,070,730	670,583,232	651,715,826

（3）補助事業

平成 28 年度から、善通寺市介護予防・日常生活総合事業の一環として、移動販売による買物サービス（ちょこっと号）を開始。29 年度には、到着までの間のふれあいの場を提供できるよう配慮したベンチを設置した。

事業内容は、家に引きこもりがちな高齢者に外に出でもらい、併せて安否確認と地域の人との交流を促進することを目的に、週 3 日間 32 箇所に移動販売サービスを実施している。また、買い物待ち合わせの場所 11 箇所に、22 基のベンチを設置した。

また、善通寺市訪問生活支援事業の委託を受け、要支援高齢者の在宅生活支援に、1 回 45 分程度会員を派遣し、身の回りの援助や見守りをおこなっている。



移動販売「ちょこっと号」事業風景

（4）独自事業

高齢者交流サロン「仲善広場（なかよしひろば）」を平成 21 年から 23 年度に企画提案事業として実施し、以後、独自事業として継続して実施している。

内容は、広域内介護予防のための 30 人～40 人の参加高齢者を対象に、毎月 2 回ゲームや体操、民謡や切り絵、押し花など多彩なメニューで開催している。

会の運営は、会員がすべて携わっており、昼食には、会員が季節感のある定食を調理・提供している。参加者は 1 回 800 円負担。



仲善広場（なかよしひろば）では、様々な催しの後、会員手作りの季節感あふれる昼食を提供しています。

(5) ボランティア活動

独自ボランティア活動として毎月1回、6カ所の施設で5名～6名の会員が、施設入所者に20分～30分のわずかな時間そばに付き添い、マッサージでスキンシップやコミュニケーションを通じてリラクゼーションに導く「タッチの癒し」活動を実施している。

また、毎年シルバー普及啓発月間（10月）には、各センター会員による清掃ボランティアをおこなっている。

(6) 会員交流のための同好会活動

会員相互の交流の場として、里山登山同好会、にこにこ体操同好会、フラダンス同好会、折り紙同好会、ソーイング・リフォーム同好会、小物手芸同好会、旅行同好会、書道同好会の8同好会で約200人の会員が参加している。

また、同好会所属会員が、作品や活動状況を市民文化祭やセンター総会などで、展示・即売などを通して入会促進をおこなっている。



会員参加の同好会には、文化祭などの催事に参加して活動をPRしています。

(7) 事故発生状況

① 傷害事故の状況

平成29度の傷害事故の発生件数は、7件と昨年と比べ4件減少している。うち、1件の死亡事故が発生している。作業の帰りの不慮の事故とはいえ、事故は一つ間違えば取りかえしのつかない事になる。全会員に、なお一層の安全管理を励行し、事故防止の周知を徹底した。

② 賠償責任事故の状況

平成29年度の賠償責任事故の発生件数は、5件と昨年より2件少なく、一昨年から連続して減少している。



無事故作業を心掛けていますが、思わぬ対物事故も発生しています。